**「京都市客引き行為等の禁止等に関する条例（仮称）」骨子案に関する
御意見に対する本市の考え方**

1 全体について（計 194 件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
○条例の制定に賛成である	(1 3 1)	条例の骨子案に賛成いただいたことを踏まえ、平成27年2月市会に「京都市客引き行為等の禁止等に関する条例」の制定を提案いたします。
(個別意見)		
【安心安全な通行に関するもの】		議決のうへは、同条例に基づき、公共の場所における安心かつ安全な通行の確保に努めてまいります。
・通行の妨げになり危険である。	1 7	
・安心して歩けないと感じていた。	1 3	
・マナーの悪い客引き行為が多い。	3	
・居酒屋などへ断り切れずに入ってから後悔したことがある。	2	
・安心安全に公共の場所を使用できるようにしてほしい。	1	
【京都の風情、品格、イメージに関するもの】		議決のうへは、本市の都市格の維持及び向上のため、同条例に基づき、客引き行為等への対策にしっかりと取り組んでまいります。
・京都らしい景観を守っていただきたい。	4	
・よいイメージの京都作りを応援している。	1	
・客引き行為は京都市の風情を損ないイメージダウンにつながる。	1 3	
・客引き行為を不快に思っていた。	1 2	
・呼び込みも決して品がいいとはいえない。	1	
・客引き行為は、客を取り合うように殺伐としている。	1	
・強引な客引きでトラブルが起こりうる。	1	
【事業者に関するもの】		議決のうへは、同条例に基づき、客引き行為等禁止区域における事業者に対する周知・啓発や指導をはじめとする客引き行為等への対策にしっかりと取り組んでまいります。
・若い女性等が化粧品の販売やエステの勧誘などで、しつこく声をかけられ、迷惑している様子をよく見かけるので、この条例により、これらの悪質な業者が少しでも減ればよいと思う。	1	
・他店への営業妨害など秩序が乱れているならば、賛成だ。	1	
・規制により生ずる不利益と保護法益とを比較し、問題ないと思う。	1	
【パトロール及び取締りに関するもの】		議決のうへは、同条例に基づき、客引き行為等監視指導員（仮称）として、本市職員が巡回を行い、条例違反行為への指導等を行うなど、しっかりと取り組んでまいります。
・制定するだけでなく、しっかり取締りを。	8	

【その他】		議決のうへは、同条例に基づき、実効性を確保できるよう、客引き行為等への対策にしっかりと取り組んでまいります。
・とても良いと思うが、規制しきれぬのか疑問はある。	1	
・風俗業以外でも取り締まるところに共感する。	1	
○条例の制定に賛成ではない	(20)	
・客引きは便利な面もあり、今のところ大きな問題ではないとも感じるので、条例は必要ない。	6	公共の場所における客引き行為等は、業種や態様に限らず、市民や観光旅行者等の安心かつ安全な通行の確保に支障を来たすことから、規制のための条例案を提案いたします。 いただいた御意見にもありますように、事業者の皆様の営業の自由とのバランスも考慮し、特に客引き行為等が多く問題となっている区域を「客引き行為等禁止区域」として指定し、客引き行為等に対し段階を踏んで是正を求めてまいります。今後、事業者や行為者の方々にも条例の目的を理解していただけるよう、啓発を行い、「市民及び観光旅行者その他の滞在者にとって安心かつ安全なまちづくりの推進」、「国際文化観光都市にふさわしいおもてなしを尊重する気運の醸成」、「悠久の歴史の中で培われてきた本市の都市格の維持及び向上」という目的を実現してまいります。 また、客引き行為等によらない方法による店舗案内等を商店会等と進めてまいります。
・条例案は少し厳しいのもっと緩和するべきだと思う。客引きが通行の邪魔になるときもあるが、店を探しているときは役に立つときもある。	1	
・集客のためにお店をアピールすることも必要であると思う。	3	
・執ようまでには至らない行為まで規制をすると商店会や自治組織はもちろん、行政の負担がより大きくなってしまおうと感じる。	1	
・客引き行為全てを禁止することが、国際文化都市にふさわしいのだろうか。もちろん悪質な客引きは控えるべきだが、全てを禁止にすることに疑問を感じる。	1	
・職業選択の自由、ひいては営業の自由を侵害する疑いが強い。	5	
・客引き等によくあっているが、不安や不快な気持ちになったことがない。防犯カメラを多く設置することは、本当に凶悪な犯罪を抑止していくことができると思うので、そちらを推進していくことの方が大切だ。	1	
・どうしても深夜に繁華街を歩かなければならない時には、客引きの方が立っていると安心感を覚える。その方がいなくなると、より危なくなるかもしれない。	1	
・反対だ。規制の基準が難しく、店の営業権の侵害といえなくもないので、禁止の基準を考え直したり、店の保護も盛り込んだうえでの条例を期待する。	1	
○賛否を明記していないもの		
【内容について】		
・木屋町など特定の区域は、特別に許可してもいいと思う。	1	公共の場所における客引き行為等は、業種や態様に限らず、市民や観光旅行者等の安心かつ安全な通行の確保に支障を来たすこと、木屋町などの区域については特に問題となっていることから、条例案においては、客引き行
・客引き行為はあくまで仕事として行われているので、禁止ではなく、可能な限り制限していく方向でいいと思う。	1	

・厳しすぎると、街が寂しくなってしまう。	1	為等禁止区域における全ての客引き行為等を規制の対象としております。
・客引き行為を全面的に禁止することができないとしても手段や方法, 場所などに配慮してもらいたい。	1	
・深夜の客引きは怖いので, パトロールは強くしてほしい。	1	御意見を踏まえ, 今後さらに現状を調査するとともに, 条例の制定によって状況の改善に向け取り組んでまいります。
・以前に比べれば, 客引きはましになっていると思う。	1	
・客引きの営業効果はほとんどないと思うので, 条例によって禁止しても問題はないと思う。	1	
・京都は観光客などが多い地域でもあるので, 他の自治体よりも, 厳しい規制を行っていく必要があると思う(要件面・罰則面など)。	2	
・客引き行為の程度によらず, 全面的に禁止した方がいいと思う。	1	
・進路を妨げられてしつこく客引きされたうえ, 案内よりも高い金額を請求された。	1	
・迷惑だと思うと同時に, 恐いと感じたこともある。	2	
・未成年だと断っても執ように客引きされたことがある。	1	
・私どもの店舗に入店しようとしたお客様に, 他店の客引きが声を掛けるので, 営業に支障が出ている。	1	
・禁止することで, 客引きをさせられるアルバイトの負担も減る。	1	
・断わる人を追いかけたり, 声をかけられるのを嫌がり走り去る人やらがいて, 落ち着いて買い物しようかと思う気持ちを失わせられる。	1	
・自店の前であっても, 通行人に不快感を与える行為は好ましくない。	1	
・客引き行為は, 通行する市民のみならず, 観光客にも不快感を与え, ひいては京都の繁華街の魅力の喪失にもつながるものである。	1	
・舞妓, 芸妓が歩く道において客引き行為が行われている光景を, 他県・外国の方がご覧になって「京都の文化」を感じられるとは思わない。	1	
・問題は, 客引きの斡旋を行う団体があり, たくさんのお店がそれを利用して, 京都の町全体でもって客引きを容認している点だと思う。	1	
・街中で客引きやスカウトがされないようにしてほしい。	1	

・営業店舗前での行為は、その店舗の営業妨害にも相当しかねない。	1	
【問題点について】		
・この条例は地区を決めてするものか、全市でするものなのかよくわからない。	1	本市の全域において客引き行為等を行い、又は行わせることがないように事業者の方に努めていただくとともに、客引き行為等禁止区域においては、全ての客引き行為等を禁止いたします。
・今回の条例化を裏付けるものが何で、どのような法令を背景に規制が成立しうるのか不明。	2	地方自治法第14条第1項により法令に違反しない限りにおいて条例を制定することができる中で、客引き行為等への対策に関する要望が多いことから、条例の制定を提案いたします。
・執ような客引き行為は既に条例で禁止されているのだから客引き行為全体を禁止しなくても良いのではないか。	1	執ようにまで至らない客引き行為等についても問題とする声が多いことから、条例案を提案することといたしました。
・風営法や迷惑行為防止条例で十分なのではないか。それで足りないというのは、単に警察が法令を適正に執行していないだけではないか。	2	
・資本主義社会では、自由な経済活動を促すことが重要であるのに行政が規制をしてもよいのか。	1	公共の場所における安心かつ安全な通行を確保するという公益のため、客引き行為等について一定の規制を設けることといたしました。 御意見を踏まえ、客引き行為等によらない方法による店舗案内等を商店会等と進めてまいります。
・企業の経済活動の一部を制限する場合には、何らかの代償措置や配慮が求められる。	1	
・全面禁止してしまうと、学生の労働の機会、客引きの成果収入を奪うこととなるおそれがある。学生の街でありながら、学生に配慮しないことには問題があると感じる。	1	
・客引き、客待ちにはその行為で不快な思いをする人もいれば、飲食店の案内をしてもらってありがたい人もいると思う。	1	
・一方的に条例を定めるのではなく、今問題になっている店からも意見を聞いたのかは少し気になった。	1	
・客引き行為等が禁止される一方で、ティッシュ・チラシ等の配布は許可制の下で禁止はされていないこととのバランスが取れているかどうか慎重に検討すべき。	1	ティッシュやチラシの配布行為は、場所を問わず行えるものではなく、交通の頻繁な道路においては道路使用許可が必要となるなど、既に法律で規定されています。
・ただいたずらに市民の自由を奪うことになると思う。この条例が本当に市民に求められているのか、またこの条例を作ることによる効果をきちんと示していただきたい。	1	公共の場所における安心かつ安全な通行を確保するという公益のための規制の必要性を御理解いただき、実効性のある運用を行っていくことが重要であるという御意見を踏まえ、今後取組を進めてまいります。
・実効性に疑問がある。	1	

<p>・実効性の確保をどのようにするのか。客引きを常習的にしている証拠をどのように保全するのか(写真を撮るのはプライバシー権に抵触するのでは)という疑問が生じる。</p>	1	
<p>・指導・勧告・禁止命令という段階でどのように客引き行為を減らしているのか全く分からないので、市民としてはこの骨子案に理解を示すことは不可能だ。目的や規制の内容、具体的な手段に関しても調査結果などから市民を納得させるものがある必要がある。</p>	1	
<p>・河原町のように間口の広い店舗での呼び込みと、木屋町・先斗町のような間口の狭い店舗での呼び込みが同じように扱われてしまっているが、地元住民からのヒアリングはなされたのか疑問に感じる。</p>	1	<p>条例案では、公共の場所における行為を規制対象としておりますが、御意見のような地域特性や事業者からの御意見を踏まえ、事業者の責務といたしまして、「事業者は、その事業活動を行う地域において、客の勧誘方法について自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）相互の間の取決め又は商慣習がある場合においては、これらを尊重するよう努めなければならない」という趣旨の努力義務を定めております。</p>
<p>・三条四条河原町周辺の状況、土地の特性、まちの景観特性、歴史性、今後の京都市諸事業との関係、交通体系の変化、それらをしっかり考慮しなおして、現状の抜け穴だらけの骨子案を修正していただきたい。</p>	1	<p>「市民及び観光旅行者その他の滞在者にとって安心かつ安全なまちづくりの推進」を3つの目的のうちの1番目に掲げ、まず市民や観光旅行者の皆様にとって安心・安全なまちづくりのため、条例を制定したいと考えております。</p>
<p>・京都市は、この条例が適用されるであろう土地・区域を、商業の地・観光の地としてしか見られていない。木屋町・河原町周辺が住宅地である（それが底辺にあり賑わいを見せている）ことを忘れていたのでは。</p>	1	<p>客引き行為等禁止区域の指定に当たっては、いただいた御意見を踏まえ、地域の特性なども考慮したうえで審議会において検討をいただく予定としております。</p>
<p>・木屋町へ客引き規制をかけた場合、周辺交通路、細街路部分などへどのような影響が出るのか十分な検討がなされたのか等、不明な部分も多い。それら周辺の京都らしさを阻害しない条例でなければならない。</p>	1	

2 条例の目的、定義、規制対象等について（計93件）

(1) 条例の目的（計 5件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
<p>・「1条例の目的②」の国際都市にふ</p>	1	<p>条例案においては、「国際文化観光</p>

さわしいおもてなしという部分があり理解できない。これ以上規制をかければ外国人に活気に欠ける印象を与えるのではないかという懸念がある。		都市にふさわしいおもてなしを尊重する気運の醸成」を目的の一つとして、客引き行為等によらない方法による店舗案内等を商店会等と進め、国際文化観光都市として活気のあふれるまちづくりを目指し、取り組んでまいります。
・国際観光都市としての品格の維持といった趣旨があるが、外国人が店選びをする際、何を扱う店なのか、客引きにより一定の情報を得られている可能性も考えられるため、全面的に禁止することは避けた方がよい。	1	
・商店会（街）の商業の振興ばかりが目的のように読むことができ、本来の区域（禁止想定区域）の住民の安心・安全を最優先に考えられていない。	2	条例案においては、「市民及び観光旅行者その他の滞在者にとって安心かつ安全なまちづくりの推進」を3つの目的のうちの1番目に掲げており、まず市民や観光旅行者の皆様の安心・安全が大切であると考えております。
・「京都の都市格の維持及び向上」が条例の目的であるとされているが、市民・住民の希望に反する条例を作ってしまうことほど都市の質・格・品を下げるものではなく、内容が条例の目的に及んでいない。	1	市民の皆様からいただいた御要望をできる限り反映させ、条例案を提案いたします。今後、条例が制定された場合は、条例の目的を御理解いただけるよう、周知・啓発を行ってまいります。

(2) 用語の定義及び規制対象（計84件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
○客引き行為等について		
・「執ような」というあいまいな基準にしておくのではなく、一切の客引きを禁止しており妥当である。	2	条例の骨子案に賛成いただいたことを踏まえ、客引き行為等への対策にしっかりと取り組んでまいります。
・客引き行為等にあたるかどうかの線引きがあいまいではないだろうか。「特定」の者に呼び掛けているかどうかを認定することは難しいと思う。	6	「客引き行為等」に該当するか否か、具体的な事例を一つ一つ条例の文言として規定することは困難ですが、行為の線引きがあいまいであるという御意見を踏まえ、周知の際にはしっかりと分かるようにお示ししていきたいと考えております。
・パトロール等の面前では客引き行為等に当たらないようにされる可能性があり、実効性の確保が困難なのではないか。	1	さらに、御意見にありますような事例も想定されることから、運用マニュアルを定め、実効性の確保を図ってまいります。
・客引き行為と呼び込み、ティッシュなどの配布を明確に分けているが、呼び込みのようにみせた客引きも出てくるかもしれないし、配布物を使って客引き行為をしてくる者も出てくるかもしれない。	1	
・「勧誘行為」と「呼びこみ行為」の線引きを誰が判断するのか、また、その際の基準は何か、といったことが見えてこない。	1	
・客待ち行為・勧誘待ち行為について	1	

定義があいまいなために外形的に単に人を待っている人とどのように区別し、見分けるのが明確ではない。客待ち行為・勧誘待ち行為の後に高度に客引き行為や勧誘行為を行う蓋然性がある場合に禁止するなど文言を追加するべきだ。		
・客待ち行為に関しては、立って客側から話かけられるまで、客引き側からは一切勧誘、客引き等をしてはならないという条件のもとで許可するべきだと考える。	1	<p>執ようでない客引き行為等についても問題とする声が多いことから、規制対象を限定することは望ましくないと判断し、客引き行為等禁止区域内においては、全ての客引き行為等を禁止することといたしました。</p>
・断っているのにしつこい客引きを積極的に罰する。	1	
・断っているのにしつこく客引きしたり、店で働くよう誘う行為を禁止して欲しい。	1	
・客引き、客待ち行為の規制は、事業者を限定する必要はないと思う。	2	
・風俗以外の全ての業種において、客引きや呼び込み、全ての行為を禁止すべき。	1	
・お店の人も客引きをしなければ経営が成り立たない。何か基準をもうけ、執ような客引き行為があれば取り締まってほしいと思う。	1	
・条例の目的との関連性を考えると、勧誘行為、客待ち行為、勧誘待ち行為については効果的だと思うが、客引き行為まで取り締まるのは、やや規制手段として厳しすぎるのではないか。	1	
・客引き行為について、相手方が拒まない場合までも罰則をもって禁止する必要があるのか。	1	
・厳格に規制するのではなく、度を越えた勧誘は規制すべき。	1	
・通りの性格（道路幅員、両側の商業施設の種別等）によって客引き行為の実態は異なるので、現状を詳細に把握し、それに応じた対策を採ることが肝要である。	1	
・店舗から1、2歩程度外に出て勧誘を行っている業者の行為も、公共の場所での客引き行為ということになるのか。	1	<p>自店舗から1歩程度であっても、道路、公園その他の公共の場所における客引き行為等であれば、該当いたします。</p>
・チラシを受け取り、そこに載っているメニューを見てどんな内容かを配っている人に聞いたところ、配っている人が熱心に売り込んできたので行くことにした場合、業者の行為は規制	1	<p>御意見のような事例においては、最終的に配布者が、チラシを受け取った方に客となるように誘っていることから、客引き行為等に該当いたします。</p>

の対象に含まれるのか。		
・「客待ち行為」の目的は「客引き行為」にあるので、両者を区別する必要はないと思った。	1	「待っているだけの行為」として実際に客引き行為等を行っていないものであっても、市民等の安心かつ安全な通行の確保のためには規制すべきであると考えております。
・待っているだけの「客待ち行為」という不定型行為を主観的な目的だけで罰則までも課するのは罪刑法定主義に照らして疑問が残る。	1	
・勧誘行為の「いわゆるスカウト行為」というのが法令としては不明確で意味が特定できない。	1	勧誘行為は、「役務に従事するよう特定の者を勧誘すること」と定義いたしました。 具体的には「キャバクラで働きませんか」といったものが該当いたします。
・路上でファッションのスナップをお願いすることは客引き行為、特にスカウトに該当してしまうのか。	1	路上でのファッションスナップのように、無償で雑誌のスナップ掲載のための写真の被写体になるよう依頼することは、客引き行為等には該当しません。ただし、対価が発生するモデルになるように勧誘する行為は、「役務に従事するよう特定の者を勧誘すること」であり、勧誘行為に該当いたします。
・公共の場所の「道路」には私道は含まれるのか。	1	私道や、商業ビル等の前に設けられたフリースペースで、歩道等と仕切られていない私有地なども、不特定かつ多数の者の通行の用に供する「公共の場所」と考えております。 一方、店舗の中からの声掛けなどは、これを規制することとなると営業の自由の侵害になるおそれがあることから、客引き行為等には含めません。
・「公共の場所において」という部分の改善をいただきたい。敷地内での呼び込みであっても、公共の場所(通り)を通行する人に対して言葉を発するだけで十分相手方を特定しており、客引きと言える。	2	
・「客引き行為」は「公共の場所において」とされているが、公共の場所以外の私有地(店舗敷地等)から公共の場所を通行している相手方を勧誘した場合、客引き行為に当たるかが不明確ではないか。	1	
・道路以外の公共の場、特に公園などで客引きを禁止する。	1	
・案のままでは、「公共の場所以外＝私有地(店の敷地や路地)に足を置いていれば、客引きできます。」と条例で公認することになってしまう。『行為を受ける者』が公共の場所にいれば禁止することにはどうか。	1	
・路地(私道)も規制しなければ、路地ごとに客引きが立つことになる。	2	
・「客待ち行為」は、「公共の場所」以外で待つことはいいのか。	1	
・店頭におけるBGMや放送を規制の	1	
		この条例においては公共の場所における客引き行為等を規制の対象といたしますので、御意見のような事例は、客引き行為等に該当いたしません。
		音に関する規制につきましては、

対象とすべき。		相手方を特定し客となるよう誘う行為ではないため、客引き行為等には該当いたしません。
○呼び込みについて		
・呼び込み行為の禁止又は制限をしてはどうか。	7	<p>呼び込み行為につきましては、相手方を特定せず、不特定の者に対して呼び掛けるものであり、特定の者に対し客となるよう誘っていないことから客引き行為等に該当いたしません。</p> <p>とりわけ自らの敷地内での呼び込み行為は営業活動の一部であり、これを規制することは営業の自由の侵害になるおそれがあります。</p> <p>ただし、条例案には、事業者が事業活動を行う地域において、例えば自らの敷地内外を問わず呼び込み行為について自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）間相互の取決め又は商慣習があるような場合には、これらを尊重していただくよう、努力義務を定めております。</p>
・呼び込みと、客引き行為とは紙一重で、その差異も不明瞭ではないか。	2	
・大勢歩いていない場合の呼び込みは特定ではないのか。	1	
・店舗前以外での呼び込みは禁止できる様にしてほしい。	3	
・細街路や細い歩道では、店の前や敷地内からであっても呼び込みはやめていただきたい。客引き行為等禁止区域では呼び込みも禁止すべき。	2	
・先斗町においては、「呼び込み」を禁止しない内容で施行されれば、通行障害の発生原因になりうる敷地内からの「呼び込み」を常態化させるだけでなく、増加させる契機にもなり得る。よって、「呼び込み」行為の定義については、強く再考を願う。	2	
・木屋町通の建物に沿って行われている呼び込みを減少させることができるのか。	1	
・先斗町ではここにいう「呼び込み」を客引きとして規制するよう要望している。	1	
・敷地内から不特定に対して話し掛けていても、道幅が狭い場合は実質的に相手が特定される。これは客引きとすべき。	3	
・市民や観光客が呼びかけに対して足を止めた時のみ続けられ、足を止めない人についていき呼び込みを続行するのを禁止する。	1	
・大声での呼び込み行為を禁止して欲しい。	1	
・呼び込みを禁止しないということだが、そんなことまで禁止すると街の活気もなくなるので、まっとうな案だと思う。	1	
○ティッシュ・チラシの配布について		
・ティッシュ配りも規制すべきでは。	3	<p>ティッシュやチラシの配布行為は、相手方を特定して客となるように誘うものではなく、通行人も自由に通行できるものであることから、客引き行為等とは区別しておりますが、配布物を受け取った相手方に対し「興味おあり</p>
・ティッシュ・チラシの配布と、客引き行為とは紙一重で、その差異も不明瞭ではないか。	1	
・河原町や京都駅など多くの人で混雑が予想される時間帯はティッシュ・チ	1	

ラシ配りを規制すべき。		ですか。」「お店へぜひいらしてください。」などと話かける行為は、相手方を特定して誘っているため、客引き行為として規制されます。
・店を広告するほぼ全ての方法が禁止されているため、チラシ配りがもっと多くなり、街に捨てられるチラシの量も多くなる可能性があると思う。対策すべき。	1	また、ティッシュやチラシの配布行為は場所を問わず行えるものではなく、交通の頻繁な道路においては道路使用許可が必要となり、交通の妨害となる場合には、警察において指導していただくよう要望してまいります。
・チラシ等の配布が禁止されていないので客引きからチラシ配りに変わるだけではないのかという懸念がある。	1	なお、チラシを捨てる行為は、京都市美化の推進及び飲料容器に係る資源の有効利用の促進に関する条例において禁止されているとともに、配布場所周辺にチラシが散乱したときは配布者において清掃するよう努力義務が課せられております。今後とも、本市において周知徹底を行ってまいります。
・チラシ・ティッシュ配りは無言ではしないので、特定の相手に対する勧誘行為だと思う。通行の妨げになる。特定区域を設けるべきだと思う。	1	
・チラシを配る際に一言声を掛けることは客引きにあたるのか、などあいまいな部分が多い。	1	
・ティッシュ・チラシの配布自体は条例で規制する必要はないように思うが、個人を特定して行うことは問題になると思う。例えば学生や女性など限定してチラシを配ることは個人をある程度特定していることにならないだろうか。	2	
・ティッシュ、チラシ配りを規制する必要はない。	1	
○先斗町について		
・先斗町・木屋町間の路地（私有地）の客引きも規制していただきたい。	1	私有地であっても、不特定かつ多数の者の通行の用に供している場合には、条例案の「公共の場所」に該当すると考えております。
・骨子案では、呼び込み行為は規制されないと書かれており、これでは、呼び込み行為を自主規制している先斗町町式目にまったく反した条例が、区域に適用されるようなことになりかねない。再考を。	1	私有地からの「呼び込み行為」、 「ティッシュ・チラシの配布」につきましては、本市が規制することとする場合、営業の自由を侵害するおそれがあるため、条例における規制の対象とはいたしません。
・先斗町に限り敷地内においても声かけ客引きは禁止するという条例を作るべきである。看板条例などは、ガラス越しに店内掲出のものでも対象になるのと同様に客引きも同じ扱いにすればよい。	2	しかし、御意見のような地域の皆様の独自の取組や商慣習は尊重すべきものであると考えますので、条例案には、「事業者の責務」といたしまして、「事業者は、その事業活動を行う地域において、客の勧誘方法について自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）相互の間の取決め又は商慣習がある場合においては、これらを尊重するよう努めなければならない」という趣旨の努力義務を定めております。
・「敷地内からのティッシュ・チラシの配布」は、通行の支障となるのは自明であるとともに、先斗町の誇りである商慣習に反することとなるため、これに対しても規制対象とすべき。	1	
・それぞれの場所や通り、公共の場所との接続具合などもきっちり考慮された規制が必要なのではないか。河原	1	

町で容認されるものでも、木屋町・先斗町で実施されれば相当な交通の妨げになり、迷惑な行為となるものもあるはず。それらへの配慮や考察が十分されていないような骨子案であり、残念に感じる。		
・「花街」においては呼び込み行為の禁止を切に願う。	1	
・客引きと呼び込みの違いについて。一番の問題はお客様と店員の距離の問題だと思う。概ね1メートルを基準に距離で定義分けすべき。	1	「1メートルを基準とした距離」で定義をした場合、実際の行為の認定が著しく困難となることから、距離による差異は設けないことといたしました。

(3) 責務等 (計 4件)

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・「市民等の協力」として想定しているものがイメージできない。	1	市民や観光旅行者などの方には、「客引き行為等に応じてはならない」といった強制はできないものの、条例の目的を御理解いただき、行動をしていただくといった御協力が不可欠であることから、このような表現といたしました。
・自治会等や市民等までもが条例の執行機関の役割を担わされる根拠は何か。拙速に条例だけを制定するのではなく、条例制定まで市民懇談会やワーキンググループ等での継続的な議論を積み重ねるべきではないか。	1	客引き行為等の条例による規制につきましては、商店会や自治組織等からの「自主的な活動に対するバックアップを」という御要望を踏まえ、可能な方法を検討してきました。 その結果、自治組織や市民等の皆様に、義務規定ではなく「役割」や「協力」をお願いすることとしております。 条例案につきましては、市政総合アンケートや今回の市民意見募集の御意見を踏まえ、可能な限り反映させたいうえで、取組を進めてまいります。
・「商店会等」と「自治組織」を区別し、市との連携に違いを設けることの必要性が理解できない。広く「自治組織」やまちづくり協議会等との連携を図るべきである。	1	客引き行為等は、事業者の皆様に関する問題が大きいことから、事業者や商店会等につきましては責務を定め、しっかりと取組をしていただくこととしております。 一方で、「自治組織」の方々には「責務」とは定めておりませんが、客引き行為等が行われないまちづくりを目指すため積極的に取り組んでいただく自治組織と一層の連携を図っていきたいと考えております。
・「本市の責務」の「団体等」の定義が明確でない。多様で積極的な支援を行うべきである。	1	御意見を踏まえ、条例案では「団体等」を「商店会等又は自治組織」としてしております。

3 客引き行為等禁止区域の指定について（計26件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
<p>・重点地区は西院，四条河原町，木屋町，河原町三条，四条大宮，白梅町，京都駅，祇園，四条烏丸，山科駅などではないか。</p>	1	<p>重点的に対策を行う客引き行為等禁止区域の指定に当たっては，様々な御意見がありますので，審議会を設置し，学識経験者や市民の委員の方による答申を踏まえたうえで，効果的な区域の指定ができるよう進めてまいります。</p>
<p>・禁止区域の設定に当たっては，一部の地域のみを規制することで，他の地域への滲み出しが予見されるため，河原町，祇園，木屋町，先斗町，四条大宮，西院など，主要な繁華街を一括で同時指定すべき。</p>	1	
<p>・事業者側からすれば，客引き行為を全面禁止されれば売上げは大きく下がると考えられるので，禁止区域は木屋町・河原町に限定し，あまり広い範囲での禁止はするべきではないと考える。</p>	1	
<p>・四条大橋東詰めから石段下までの四条通でも客引きもどきが散見される。後々のため，禁止区域にしてはいかがか。</p>	1	
<p>・禁止区域に西院駅前を入れてほしい。</p>	2	
<p>・先斗町も客引き禁止区域に指定していただきたい。</p>	1	
<p>・河原町だけでなく，京都駅のアバンティの地下道でも，よく夜の仕事の勧誘があるので，そちらも対象としてほしい。</p>	1	
<p>・禁止区域では地元事業者による自主的なパトロールが前提とされているような書き方だが，先斗町の住人・商業主としては「違和感」がある。パトロールの実施等はそのまちの様子をイメージの悪いものにすると考えており，また，客引きが多い時間，先斗町の住人・事業者は小店主であり，商売から出られない状況であること等も考慮されているのか不信感を抱く。</p>	1	<p>客の勧誘方法について，自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）間相互の取決めにより積極的に客引き行為等や客の勧誘方法への対策に取り組んでいる場合も，禁止区域の指定の要件である「啓発活動」に該当する可能性もありますが，条例案の趣旨を踏まえ，可能な限りパトロールをしていただきたいと考えております。</p>
<p>・先斗町通・木屋町通は，客引きも呼び込みも禁止する「客引き・呼び込み禁止区域」として指定してほしい。</p>	3	<p>「呼び込み」をこの条例において禁止することはいたしません，「事業者の責務」といたしまして，「事業者は，その事業活動を行う地域において，客の勧誘方法について自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）相互の間の取決め又は商慣習がある場合においては，これらを尊重するよう努めなければならない」という趣旨の努力義務を規定しており，「客の勧誘方法」の</p>

		一つである「呼び込み」についても地域における取決め又は商慣習を尊重していただく趣旨の努力義務を定めております。
・禁止区域の周知はどのように行うのか。禁止区域外の客引きとの差はどのように説明するのか。なぜ禁止区域外では客引きは認められるのか。	1	「事業者の責務」といたしまして、本市の全域において、客引き行為等を行い、又は行わせることがないよう努めなければならないこととしております。そのうえで、特に対策が必要な区域につきましては客引き行為等禁止区域に指定いたします。 同区域の指定の際には、告示をするとともに、市民しんぶんへの掲載や同区域の事業者へのチラシの配布などを行い、周知を図ってまいります。
・禁止区域を作ることはよいと思う。	2	実効性を確保できるよう、適切な運用に努めてまいります。
・禁止区域には警察官を常時滞在させる等のより直接的な措置を期待したい。	1	条例案には「関係警察署長への協力依頼」という規定も設けており、警察とも必要に応じた連携を進めてまいります。
・禁止区域を指定する際、その区域の事業者や市民の意見を考慮すべき。	1	いただいた御意見は、今後、審議会の委員の選定や意見聴取の方法の検討に当たり、参考とさせていただきます。
・商店会が組織されない木屋町・先斗町からは審議会に参加できるのか。	1	
・対象となる道路幅員や歩道幅員、沿道の商業施設の性格等に応じて段階的に区域を指定し、その区域の実情に応じた規制内容をきめ細かく設定すべき。	3	区域ごとの規制につきましては、市民への周知と正確な御理解を得ることが困難となり、規制の現場での混乱が予想されますので、客引き行為等の対策の区域の指定及び規制内容は一律とする予定としております。
・禁止区域の範囲を広くするべきだと考える。	2	客引き行為等が全く問題となっていない地域もあることから、条例の目的に照らし、現在特に問題となっている地域を対象に禁止してまいります。
・市内全面禁止を求める。	3	

4 指導、勧告及び禁止命令について（計 8件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・指導、勧告、命令、公表、過料とペナルティを段階的に重くしている点がよい。	1	実効性を確保できるよう、適切な運用に努めてまいります。
・強力な指導・勧告・命令をお願いしたいと思う。	1	
・指導、勧告、禁止命令、過料という規制手段は少し煩雑で行政の負担につながるのではないか。	1	
・指導、勧告、禁止命令という段階を踏むと抑止力が働かないのでは。	2	これらの措置は、客引き行為等をなくすことが目的ですので、まずは指導から段階を踏んで行い、事業者や行為

		者において改善していただけるよう、粘り強く取り組んでまいります。
・店舗が仲介業者に宣伝を依頼し、依頼された業者が人を雇って客引き行為をさせた場合の指導及び勧告の対象は誰になるか。	1	行為者、店舗、依頼された業者のいずれもが指導から罰則までの対象者となります。
・指導・勧告・命令の手續にこそ、職員への権限付与はもちろんのこと、商店会や自治組織への委託の条文が必要ではないかと思う。	1	指導、勧告、命令につきましては、行政にのみ権限のある行為であり、商店会や自治組織への委託はできないこととなっておりますので、本市の職員が行うこととしております。
・何らかの作為を求めるのであれば一定の期限も必要だが、不作為を求めるだけであれば、相当の期限を定めて禁止を命じる意味はないのではないか。	1	御意見を踏まえ、相当の期限を定めて命令を行う旨の文言を削除いたしました。

5 公表及び罰則について（計24件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・公表の方法が不十分だ。	1	事業者の法人名だけではなく、行為者の個人の氏名や住所も対象となることから、公表の方法やその期間につきましては、慎重に検討してまいります。
・店舗名だけでも公表されたら、客引きも少なくなっていく。	1	
・名前の公表や批判でバイトなどが負担を負うことのないよう配慮を。	1	
・公表の期間などは条例施行以前に明確に規定するべき。	2	
・公表や過料によって抑止効果が高まると思う。	1	
・過料には賛成だ。	3	実効性を確保できるよう、適切な運用に努めてまいります。
・この条例では、取締りの前提として行政の指導や禁止命令等が必要なので、即効性が少ない。今後は直接適用できる罰則規定を設けるべきだ。	1	これらの措置は、客引き行為等をなくすことが目的ですので、まずは指導から段階を踏んで行い、事業者や行為者において改善していただけるよう、粘り強く取り組んでまいります。
・過料の適用は不可能と思われることから条例で規定する必要はないのではないか。指導、報告徴収及び立入調査の根拠が条例により裏打されただけで十分と思われる。	1	罰則の適用は抑止効果が高いと考えられることから、過料の規定を設けております。できるだけ早期に客引き行為等がなくなるよう、適切な運用に努めてまいります。
・罰則を強化してほしい。	8	過料の額は、地方自治法において定められている上限の額としております。
・過料が事前の抑止力となるのに十分な額を期待する。	1	
・特定の区域での客引き行為、違反者には罰金を設けるべきと思う。	1	罰金ではなく、まずは本市において徴収することができる過料の適用を進めてまいります。
・過料は強制的な権力を及ぼすことになるので、相手方に通知を行う必要があるのではないか。	1	禁止命令を行う前に、京都市行政手続条例の規定に基づき弁明の機会の付与を行います。また、命令書や過料徴収の際の告知書も相手方に交付することといたします。

<ul style="list-style-type: none"> ・過料は、客引きをしていた本人から徴収するのか。本当はしたくないが店主から言われて無理矢理客引きをせざる得ない学生アルバイトなどに配慮してほしい。 	1	<p>行為者を過料の対象外とすると、抑止力が働かず、改善につながらないことから、行為者も過料の対象といたします。</p> <p>御意見のような事例にも鑑み、事業者や店舗への罰則の適用がしっかりとできるよう運用してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・テナントビルへの罰則も含めて考えないと効果が薄いと思う。 	1	<p>テナントビルの事業者が客引き行為等をさせていた、という事実が判明した場合には、罰則の対象となります。</p>

6 報告徴収及び立入調査について（計 3件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・報告徴収及び立入りを拒否したペナルティはあるのか。 	1	<p>御意見を踏まえ、条例案には報告徴収及び立入調査を拒否した場合に50,000円以下の過料に処する旨を規定いたしました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・報告徴収及び立入りを拒否した場合にも過料を課すべき。 	2	

7 施行期日について（計 7件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早く施行していただきたい。 	6	<p>御意見を踏まえ、条例案では、目的や責務等に関する規定は平成27年4月1日から、指導から罰則までの規定は同年9月1日から施行することとし、いずれも施行期日を早めることといたしました。</p> <p>条例案の議決後は、平成27年4月の一部施行時からしっかりと周知を行い、客引き行為等禁止区域を指定したうえで、同年9月からの全面施行時にはしっかりと規制してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ施行と同時に過料なども徴収できるようにしないのか。 	1	

8 警察との連携について（計 8件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・警察とも十分連携され、効果を上げてほしい。 	3	<p>御意見を踏まえ、条例案には、京都府との連携や、関係警察署長への協力依頼に関する規定を設けております。</p> <p>京都府警察へ情報の提供その他必要な協力を求めるなどして、取り組んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・勧誘行為を目撃した一般市民は、まず警察に通報すると予想されるので、さらなる警察との連携を強化していく必要があると思う。 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・今の府の条例でも、風俗関係のスカウトは規制できるはずだ。 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・市だけで風俗関係者に立ち向かうことはできないだろうから、警察にも頑張ってもらいたい。 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・携帯の動画を撮影し、警察にメール送信すれば、取締りできる方法を確立してほしい。手軽に通報できる様にし 	1	

なければ、市民も通報してくれないと思う。		
・現在禁止されているはずの風俗営業への客引き行為が、木屋町通において多数見かけられるのはなぜなのか。	1	

9 客引き行為等の現状について（計12件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・四条河原町交差点は18時頃より客引きが増えている現状である。	1	御意見を踏まえ、今後さらに現状を調査するとともに、状況の改善に向け取り組んでまいります。
・よく四条、河原町、木屋町に行くが、マルイの前などキャッチがひどくて困っている。	1	
・河原町や木屋町の辺りですつこくつきまとわれることが多い。	2	
・大阪の梅田や難波に比べると軽い程度のものだが、放置しておいたら犯罪につながるおそれもある。	1	
・客引き行為等は蛸薬師通でも散見され、特に勧誘行為は目につく。	1	
・河原町 OPA の前などで風俗営業の勧誘をされたことがあり、「お金ほしいでしょ」などと言われてとても不快だった。	1	
・スカウトの中には18才未満の子もおり問題があると感じる。	1	
・商店街等では、客引き行為等は行われていないと思う。	1	
・先斗町通に飲食店が増えて、花街としての風情がなくなっているうえに、飲食店や風俗店の呼び込みまで立たれていると、京都らしさが台無しになる。	2	
・木屋町通に面して敷地ぎりぎりに立って呼び込み形式で客引きをしている者が多い。	1	

10 提案及び要望について（計62件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・規制逃れに対する対処方法について検討の必要があると思う。	2	規制逃れがないよう、実効性のある運用を検討してまいります。
・「市長の指定する職員」の確認のみ	1	

が客引き行為等の認定となるのであれば、規制逃れが横行することが予想される。実効性のある運用、体制を。		
・学生は条例の存在を十分に知らずにこういったアルバイトを行ってしまうであろうから、あらかじめ業者への説明を十分に行ってほしい。	1	事業者に対し、周知チラシを配布することや、学生向けの周知のため、市内の大学へ依頼を行うことなどにより、条例の内容をしっかりと周知できるようにしてまいります。
・条例を実施する際も事前に周知し、指導をしてから実施すべき。	1	
・審議会のメンバーに飲食店業界出の人物の参与を求めるのも問題の解決につながるのではないか。	1	いただいた御意見は、今後、審議会の委員の選定に当たり、参考とさせていただきます。
・客引きについて、場所による規制や、時間規制を設けてはどうか。	1 3	場所による規制につきましては、禁止区域の設定により行うこととしております。 時間規制につきましては、規制していない時間帯の客引き行為等が問題となるおそれがあるため、現時点では導入することはいたしません。
・少なからず不利益を課すものなので、時間短縮などの経過措置を経て行うべきだ。または、不快な客引きを減らすために、客引きを不快に思わない年齢層・時間帯を調査し、その結果から制限を行うべきだと思う。	1	
・客引き行為について、一定の基準を設け、権限を与えることや許可制（申請制）を設けてはいかがか。	6	「市民等が安心かつ安全に通行することができるまちづくり」を目的とした規制であることから、一定の地域では客引き行為等は禁止すべきであると考えており、許可制は現時点では導入することはいたしません。
・客引き行為等を行った店については地域住民、観光客からの苦情を市に申告させ、今後の取組を報告させる。	1	いただいた御意見は、本市の条例案に直接反映させることは現時点ではいたしません。今後、効果的な運用を進めるに当たり、貴重な御意見として参考にさせていただきます。
・1店舗1人までなど、客引きや呼び込みをする人数制限を設けるべき。	1	
・店長などの責任者に対する周知はもちろんのこと、アルバイト従業員等への指導材料として、マニュアルなどを作成してはどうか。	1	
・客引きの仲介業のシステムそのものを見直すことも必要ではないか。	1	
・客引きをする業者同士が相互に抑止し合い、客引きを止めることで、客の取り合いという競争がなくなると思う	1	
・テナントビルへ客引き行為の禁止を契約時に義務付けする必要がある。	1	
・市長は一般に通行している者に対して勧誘行為をする者に対し、相応の期間を設け勧誘行為の撤退を勧告できる。その代わりに他の広告手段に工夫を加える権利を認める。	1	
・客引き行為等を受けたとしても相手方をその場で特定し、行政に言う事も	1	

できない。この手続をもう少し簡易に身近に感じられるようにしてほしい。		
・チラシが捨てられると街の景観を損ねるので、より幅広く客引き行為を禁止するか、客引きを許可するかわりに清掃活動を義務づけるなど、もう一工夫が必要ではないか。	1	
・大学生向けの客引きのバイトの紹介所から取締りをしていくべきではないかと思う。	1	
・客引き等を禁止するのも重要だとは思いますが、逆の方法を試してみるのもありだと思う。京都の景観をきれいに保つ活動を積極的に行った企業や店を表彰したりするなど。表彰されることによって店の宣伝にもなる。	1	
・飲食店よりもつきまとう距離、時間が長く、営業の実体もわかりにくいスカウト行為に特に厳しくすべき。	1	
・京都の町を細かくグループ化して、そのグループ全体が連帯の責任を負うようにする。	1	
・木屋町で営業を行う者が共通の集合体を組織し、8割の賛成が得られない店舗に限り、本条例を適用するといった案もあると考える。	1	
・今回の条例では客引きのみを対象としているが、それに付随する客引き連動型のまちの様子を悪化させる要素に対しても同時に対策を講じていただく必要があると思う。	1	
・客引き行為者の言動についても厳しく条例で規制してほしいと思う。	1	
・国際都市を意識するならば、英語の検定の取得者に優遇政策を採るなど、他方面からのアプローチが必要だ。	1	
・まず、キャバクラやヘルスなどの風俗の勧誘・スカウトを全てなくす方が重要ではないか。	2	風俗営業の勧誘につきましては、京都府の迷惑行為防止条例による規制の対象となっており、京都府警察が取締りを行っております。
・権限のある保安要員の巡回があればもっとよいと思う。	1	本市の対応としましては、客引き行為等監視指導員（仮称）として、本市職員が巡回し、指導から過料徴収までを行うことを予定しております。
・歩きタバコのムダな警備員をそちらにむけるべきだと思う。	1	
・毎日警察と連携してパトロールしたり、キャッチ行為する店舗を営業停止処分したりするようにすれば減っていくのではないか。	1	
・外国人観光客が出歩く時間については特に重点的に見回りしてほしい。	1	

・あまり地域住民に負荷をかけると、取組が継続不可能になってしまう恐れもあるので、行政側(警察など)が主とした取り組みを期待している。	2	
・証拠保全のための写真撮影に関しては、本人の同意なしに行うことは必要性、相当性が認められない限り、行ってはいけない。	1	客引き行為等に当たるかどうかの判断やその立証をどのように行うかにつきましても、いただいた御意見を踏まえ、検討してまいります。
・証拠保全のために写真を撮るということが有効だと考える。肖像権の問題になると思うが、迷惑行為を抑止する上で必要最小限であれば、法的には適切であると思う。	1	
・防犯カメラの映像を証拠にしてもよいと思う。	1	
・証拠は「証言」だけでいいのではないかと思う。	1	
・良いサービスの案内を受けられるように、案内所を設置すればよい。	1	
・自らの店について紹介できるインフォメーションセンターのような場所を設けてはどうか。	1	御意見のように、客引き行為等が行われることがなく、市民や観光旅行者などの方が快適に飲食や買物等ができる環境づくりについて、より一層取り組んでまいります。
・客引きのおかげで顧客を得ているお店や、客引きのバイトにより賃金を得ている人がいる中で、そういった人達への配慮の必要性も感じる。	1	
・市の側からのみ考えるのではなく、客引きをしているお店側の意見を取り入れてこの条例を考えていくべきだ。	1	
・先斗町のようなはっきりとした問題には特例事項として扱ってほしい。	1	先斗町の皆様からは、今回多くの御意見をいただいたところです。 御意見を踏まえ、本市の考え方について御説明させていただきましたが、条例案には、「事業者の責務」といたしまして、「事業者は、その事業活動を行う地域において、客の勧誘方法について自主的な規制を求める事業者（地域住民を含む。）相互の間の取決め又は商慣習がある場合においては、これらを尊重するよう努めなければならない」という趣旨の努力義務を定めております。 また、私有地であっても、不特定かつ多数の者の通行の用に供している場合には、条例案の「公共の場所」に該当すると考えております。
・先斗町では「呼び込み行為」の規制や木屋町通での客引き対策を京都市に要望してきたが、骨子案は路地に客引きを誘導するようなものであり先斗町まちづくり協議会の意見に反している。会への説明を要求する。	1	
・先斗町まちづくり協議会からの市長要望の中にも客引き対策をお願いしているにも関わらず、骨子案では、逆に先斗町区域内へ客引き・呼び込みが増加するような案とされている点について説明を求める。	1	

11 その他（計 8件）

御意見の趣旨	意見件数	御意見に対する本市の考え方
・木屋町などの風俗の無料案内所はなくすべき。	1	これらの御意見は、客引き行為等の禁止等に関する条例における規制対象ではありませんが、いただいた御意見は所管機関や所管部署にお伝えするなど、今後の本市施策の参考とさせていただきます。
・無料試写室などといった看板を持って立っているのもなくすべき。	1	
・たまに学校の前で塾の勧誘で配りものをしているが、子供たちがもらったチラシやファイルをポイ捨てしているので、条例で禁止してほしい。	1	
・看板条例の（施行）後、看板はなくなったが、建物内、例えば内側から窓に看板のような店名や店の案内の表示がされている。あれは規制の対象にならないのか。客引きの一種だと思う。	1	
・四条通，河原町通，先斗町通の自転車の取締りも全くだめで，目前でも放ったらかしがほとんど。いくら条例や法律を整備してもしっかり運用してもらわなくては机上の空論で止まってしまう。	1	
・蛸薬師商店会の道路に放置自転車が 多いので頻繁に撤去してほしい。	1	
・さらに自転車道を拡大させてほしい。京都市内を車で運転している時はいつも自転車が道の真ん中を走っていて困る。	1	
・カラオケ店員が大声を出すのもやめてほしい。	1	